



IOSCO/MR/25/2019

マドリード、2019 年9月 30 日

IOSCO による投資者教育及び投資者保護のための世界投資者週間 2019 の開幕について

証券監督者国際機構 (IOSCO) は、本日、第3回世界投資者週間を開幕しました。これは、世界中で 1000 以上の金融関係組織が投資者教育及び投資者保護のための取り組みを紹介した、昨年の世界投資者週間の成功を受けてのものです。

2019 年9月 30 日から 10 月6日にかけて、約 90 の国で、証券当局者、取引所、国際機構、投資協会、その他の関係団体が投資者教育及び投資者保護に関する意識を高めるよう多くの活動を行う予定です。活動内容は、ワークショップや会議、地方レベル・国レベルでの投資者教育キャンペーン、ゲームやコンテストなど多岐に渡ります。これらのイベントの多くは、世界投資者週間の後も行われる予定です。

世界投資者週間の主要な目的は、投資者教育及び投資者保護の重要性に光を当てることに加え、投資者の学ぶ機会を強化することにあります。急速なテクノロジーの進展と金融市場のグローバル化が進む中、これは特に重要な目的です。実際、今年の世界投資者週間では、賢い投資の基本を促進するだけでなく、オンライン投資やデジタルアセット、ICO に伴うリスクへの個人投資家の理解を促すことも目標とされています。

「金融リテラシーのための鐘をならす」セレモニーが国際取引所連合 (WFE) によって開催される予定です。これらのイベントは、WFE メンバーが、自国・地域で金融教育及び金融リテラシーを改善するための取り組みを推進する良い機会となります。これらの活動のなかで、関係団体によっても、自国・地域での進展が称えられます。30 以上の世界中の取引所及び清算機関が、2019 年世界投資者週間の間に、同セレモニーの開会、閉会を祝福します。

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS545-English.pdf>



世界投資者週間の開幕と合わせ、IOSCO 代表理事会は、本日、[金融のリテラシーに関するコアコンピテンシーのフレームワーク](#)を公表しました。これは、IOSCO メンバー及び投資者教育の供給者、その他の関係者が投資者教育の取組みを行う際の助けとなるものです。このフレームワークは、利用者に対する投資者教育プログラムの内容についてのガイダンスを含み、どの分野が評価戦略と判断されうかを示します。

世界投資者週間における幅広い活動についてご紹介するため、ここでイベントの例について取り上げます。ブラジルでは、世界投資者週間 2019 において、10 月4日に行動科学と投資者教育に関する年次会議を開催します。ロシア全体の学校、大学では、オンライン式及びオフライン式の講義を行い、生徒に投資と証券市場の役割についての基礎知識について教える予定です。日本では、金融庁が実践的な教材・副教材の作成・展開や、大学の教員養成課程への講師派遣を行う予定です。ルーマニアでは、金融監督庁が学術研究所プログラムを作成し、高校における経済学のための金融教育プログラム、及び大学入学前の教師のための講師育成授業を開始します。

シンガポール国家の金融教育プログラムである MoneySense は、9月30日の週に4つ集会を開催します。そこでは、パネルディスカッションを毎日実施し、対話型のプラットフォームを提供することで、個人投資家が直接業界の専門家関わることができます。ポルトガルでは、証券監督委員会 (CMVM) が、デジタル化の正しい方向に関する半日の会議、及びポルトガルの主要都市にある銀行支店の一般公開を行います。そこでは、銀行支店長が個人投資家を招待し、ポルトガルの証券市場監督機関である CMVM と自由に会話ができます。サウジアラビアでは、金融リテラシーの重要性に対する意識を高めることを目的とし、対象者を定めたキャンペーンとして、ワークショップ、ソーシャルメディアのプログラム、専門のテレビ番組を提供します。

世界投資者週間は日本が議長国である G20 への支持を表明しているほか、国際機構もまた世界投資者週間に参加しています。175,000 のサーティファイドファイナンシャルプランナー (CFP) を代表する 26 の組織をメンバーとしている国際的な CFP 組織である FPSB は、世界投資者週間の一環として、10 月3日を第3回ワールドファイナンシャルプランニングデーとする予定です。FPSB のイベントは、金融リテラシーを向上させ、消費者

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS545-English.pdf>



が自身の資産管理により責任をもつことを目的として、債務管理、住宅保有、退職と投資のプランニングに焦点を当てています。

投資家教育国際フォーラム (IFIE) は、世界投資者週間をサポートするために、世界レベル、地域レベル両方で教育能力向上を求める様々な取り組みを行っています。16 のカリブ海の国の集まりである IFIE の北米中南米ワーキンググループでは、カリブ海諸国のフィンテックプレッジイニシアチブを通じ、金融技術に対する意識および理解を高めることによって金融市場の保護に焦点を当てています。このプロジェクトは、投資家のなかで人気が高まっている仮想通貨やデジタル通貨、その他の資産について含んでいます。

アシュリー・オルダー IOSCO 代表理事会議長兼香港証券先物委員会 CEO は「この世界規模の世界投資者週間と、IOSCO メンバーと関係者の協働は、IOSCO の投資者教育及び投資者保護への強いコミットメントをあらわすものである。」と述べました。

ポール・アンドリュース IOSCO 事務局長は「IOSCO は3回目の世界投資者週間が行われたことを歓迎する。このイベントは、ますますグローバル化・デジタル化する金融市場における課題に対処するよう、投資者を保護しそれに備えるため、世界投資者週間が更に支持を得ていることを示している。」と述べました。

本取り組みを支援する参加当局と国際機関についての詳細は、キャンペーンウェブサイト (www.worldinvestorweek.org) に記載されています。

NOTES TO THE EDITORS については省略。

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS545-English.pdf>